

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-18	高等学校	国語	古典B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古B 339/340	古典B 改訂版 古文編 漢文編		

1. 編修の基本方針

- 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てることができるよう配慮する。
- 教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を幅広く収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮する。
- 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【古文編】第I部 1 説話 宇治拾遺物語 十訓抄 今昔物語集	○古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ることがをねらいとし、説話教材 3 作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を寛容できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.8-15
2 随筆(一) 徒然草 方丈記	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 2 作品を収録した。(第1号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.16-33
3 物語(一) 竹取物語 伊勢物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 2 作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.34-51
4 随筆(二) 枕草子	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 1 作品を収録した。(第1号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号) ○我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。 ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.52-61
5 物語(二) 大鏡 平家物語 義経記	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、歴史物語教材 1 作品、軍記物語教材 2 作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.62-87
6 日記 土佐日記 更級日記	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材 2 作品を収録した。(第1・5号)	pp.88-101
7 物語(三) 源氏物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.102-117
8 和歌・歌謡・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 梁塵秘抄 閑吟集 芭蕉・蕪村・一茶 市中の巻	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、和歌教材 3 作品、歌謡教材 2 作品、俳諧教材 2 作品を収録した。(第1号) ○生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第4号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.118-136

<p>【古文編】第Ⅱ部</p> <p>1 説話 古今著聞集 今昔物語集 宇治拾遺物語</p>	<p>○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、説話教材 3 作品を収録した。(第 1 号)</p> <p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.138-149</p>
<p>2 随筆 枕草子</p>	<p>○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</p> <p>○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第 2 号)</p> <p>○我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。</p> <p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.150-163</p>
<p>3 物語(一) 大和物語 堤中納言物語 大鏡</p>	<p>○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材 3 作品を収録した。(第 1 号)</p> <p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.164-179</p>
<p>4 日記 蜻蛉日記 和泉式部日記 紫式部日記 十六夜日記</p>	<p>○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材 4 作品を収録した。(第 1・5 号)</p>	<p>pp.180-193</p>
<p>5 物語(二) 源氏物語</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号)</p> <p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.194-223</p>
<p>6 評論(一) 古今和歌集仮名序 無名草子 無名抄 連理秘抄 風姿花伝 正徹物語</p>	<p>○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、中古・中世の評論教材 6 作品を収録した。(第 1・5 号)</p>	<p>pp.224-235</p>
<p>7 劇文学 隅田川 曾根崎心中</p>	<p>○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、能教材 1 作品、浄瑠璃作品 1 作品を収録した。(第 1 号)</p> <p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.236-247</p>
<p>8 評論(二) 笈の小文 三冊子 去来抄 難波土産 玉勝間</p>	<p>○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、近世の評論教材 5 作品を収録した。(第 1・5 号)</p>	<p>pp.248-257</p>
<p>9 物語(三) 古事記 西鶴諸国ばなし 雨月物語</p>	<p>○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材 3 作品を収録した。(第 1 号)</p> <p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.258-274</p>
<p>【漢文編】第Ⅰ部</p> <p>1 故事と逸話 知音 画竜点睛 両頭蛇 漱石枕流 糟糠之妻 塞翁馬</p>	<p>○幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事と逸話を 6 作品収録した。(第 1 号)</p> <p>○短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.8-15</p>
<p>2 漢詩—近体詩 自然 別離 旅情 憂愁 自適</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐宋の近体詩 12 首を収録した。(第 1 号)</p> <p>○収録した漢詩教材のテーマとして「自然」「別離」「旅情」「憂愁」「自適」を掲げ、生命を尊び、自然を大切にすることを養うことができるよう配慮した。(第 4 号)</p> <p>○漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.16-29</p>

<p>3 史伝—『史記』本紀 項羽と劉邦 鴻門の会 項王の最期</p>	<p>○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.30-47</p>
<p>4 文章 桃花源記 捕蛇者説</p>	<p>・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、物語 1 作品、論説文 1 作品を収録した。(第 1 号) ・我が国でも親しまれた陶潜の名作と、達意の名文として知られる柳宗元の文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.48-55</p>
<p>5 思想—儒家 孔子と門人たち 人の性 政治のありかた</p>	<p>○幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』7 章、『孟子』3 章、『荀子』1 章を収録した。(第 1・5 号) ○収録した思想教材のテーマとして「孔子と門人たち」「人の性」「政治のありかた」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</p>	<p>pp.56-69</p>
<p>6 日本の漢詩文 漢詩 逸話</p>	<p>○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、日本人による漢詩 5 首、逸話 1 作品を収録した。(第 5 号)</p>	<p>pp.70-75</p>
<p>7 小説 定伯売鬼 定婚店</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材 2 作品を収録した。(第 1 号) ○小説文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.76-83</p>
<p>【漢文編】第Ⅱ部 1 史伝—『史記』列伝 呂不韋 荊軻</p>	<p>○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.96-113</p>
<p>2 漢詩—古体詩 人生 社会</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、古体詩 6 首を収録した。(第 1 号) ○収録した漢詩教材のテーマとして「人生」「社会」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) ○漢語の特色を活かして構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.114-123</p>
<p>3 文章 師説 春夜宴桃李園序</p>	<p>・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、論説文 1 作品、駢儷文 1 作品を収録した。(第 1 号) ・達意の名文として知られる韓愈の文章と、漢語の特色を活かして構成された駢儷文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.124-129</p>
<p>4 思想—諸子百家 無為自然 法治の思想 愛</p>	<p>○幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『老子』3 章、『莊子』2 章、『韓非子』3 章、『墨子』1 章を収録した。(第 1・5 号) ○収録した思想教材のテーマとして「無為自然」「法治の思想」「愛」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</p>	<p>pp.130-141</p>
<p>5 長恨歌と日本の文学 長恨歌 源氏物語 更級日記 枕草子</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、長編の漢詩「長恨歌」を収録した。(第 1 号) ○他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深めることをねらいとし、「長恨歌」に言及した平安時代の文学 3 作品を収録した。(第 5 号)</p>	<p>pp.142-155</p>
<p>6 小説 人虎伝</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の文学にも影響を与えた伝奇小説の読解を通じて、古典の現代的意義を知り、理解を深めることをねらいとし、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.156-168</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- 古文編では、古文に関する資料や図版を口絵にまとめた。その際、主要作品・主要人物の流れや関係がわかるような図を配置し、生徒が古文の世界を概観できるように配慮した。また、その他の資料も、わかりやすいように「古文の舞台」「古文の暮らし」などのテーマごとに配し、また説明に模型や写真を多用して、生徒が古文の世界を視覚的かつ具体的にイメージすることができるよう配慮した。
- 古文編では、付録に敬語や識別に関する資料や解説を新たに収録するとともに、巻末に用言活用表や助動詞活用表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- 漢文編では、教材理解に資する絵画・写真資料を口絵にまとめた。その際、「漢文の舞台」「漢文の世界」として、生徒の興味・関心を喚起することができるよう配慮した。
- 漢文編では、巻末に漢文参考年表や助字一覧表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- 古典を読むための知識をまとめたコラム「古文を読むために」「漢文を読むために」、古典作品の背景を解説したコラム「古文の窓」「漢文の窓」を適宜配置した。
- 漢文編では、「基本句法のまとめ」「再読文字のまとめ」を設け、漢文を読むための基礎知識を一覧できるようにし、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-18	高等学校	国語	古典B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古B 339/340	古典B	改訂版	古文編 漢文編

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てることができるよう配慮した。

●構成

- 1 扱いやすさを考慮して、全体を古文編・漢文編の2分冊に分けた。
- 2 これまでの高等学校学習指導の継続性を考慮して、単元構成はジャンル別とした。

●教材選択にあたっての配慮

教材は、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を幅広く収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮した。

●教材化の工夫

- 1 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮した。
- 2 脚注、注意する語句、設問などを適切に付した。脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」、漢文の句法についての説明には「句法」の記号をつけ、参照しやすいよう配慮した。また、本文中の重要古語、訓読で注意する文字、主な句法に印を付け、重要古語については巻末の「重要古語索引」で一覧できるようにした。
- 3 教材を学習する上での手がかりとして、「学習のポイント」「言語活動」「単元課題」などを設け、その教材の学習を実践的に行うことができるよう配慮した。

●コラムの充実

- 1 古典を読む力を磨くコラム「古文を読むために」「漢文を読むために」を収録した。用例を豊富に示し、図解を効果的に用いて、生徒の意欲を喚起するよう配慮した。
- 2 古典の教材理解に役立つ背景知識をまとめたコラム「古文の窓」「漢文の窓」を収録した。
- 3 漢文編では「基本句法のまとめ」「再読文字のまとめ」を設け、古典を読むための基礎知識を一覧できるようにし、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

●付録の充実

- 1 古文編では、古文に関する資料や図版を口絵にまとめた。その際、主要作品・主要人物の流れや関係がわかるような図を配置し、生徒が古文の世界を概観できるように配慮した。また、その他の資料も、わかりやすいように「古文の舞台」「古文の暮らし」などのテーマごとに配し、また説明に模型や写真を多用して、生徒が古文の世界を視覚的かつ具体的にイメージすることができるよう配慮した。
- 2 古文編では、付録に敬語や識別に関する資料や解説を新たに収録するとともに、巻末に用言活用表や助動詞活用表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。
- 3 漢文編では、教材理解に資する絵画・写真資料を口絵にまとめた。その際、「漢文の舞台」「漢文の世界」として、生徒の興味・関心を喚起することができるよう配慮した。
- 4 漢文編では、巻末に漢文参考年表や助字一覧表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										箇所	配当 授業 時数
	(1)指導事項					(2)言語活動例						
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ			
[古文編]												
宇治拾遺物語（検非違使忠明…）	○	○	○	○	○	○					pp. 8-9	
十訓抄（大江山いくのの道）	○	○	○	○	○			○			pp. 10-11	
今昔物語集（狼と母牛）	○	○	○	○	○				○		pp. 12-14	
＜古文の窓1＞説話の生きる場所			○	○	○						p. 15	
徒然草（家居の…/応長のころ、…/ 名をさくより/世に語り伝ふること/ 今日はそのことを…/丹波に…）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 16-25	
方丈記（行く河の流れ/安元の大火/ 日野山の閑居）	○	○	○	○	○			○			pp. 26-33	
竹取物語（かぐや姫の昇天）	○	○	○	○	○				○		pp. 34-39	
伊勢物語（初冠/月やあらぬ/関守/狩 りの使ひ/つひにゆく道）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 40-51	
枕草子（すさまじきもの/木の花は/ 中納言参りたまひて/二月つごもりご ろに/九月ばかり）	○	○	○	○	○			○			pp. 52-56、 58-60	
[言語活動]「古今異義語辞典」を作る	○					○			○		p. 57	
＜古文の窓2＞中宮定子と清少納言			○	○	○						p. 61	
大鏡（雲林院の菩提講/道真左遷/競 べ弓/花山院の出家）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 62-74	
＜古文の窓3＞藤原道長の栄華			○	○	○						p. 75	
平家物語（忠度都落ち/能登殿最期）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 76-84	
義経記（静の白拍子）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 85-87	
土佐日記（羽根/阿倍仲麻呂の歌/白 波）	○	○	○	○	○			○	○	○	pp. 88-93	
更級日記（あこがれ/源氏の五十余巻 /猫）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 94-99	
[言語活動]古典の「夢」について調べる									○		pp. 100-102	
源氏物語（桐壺（一）（二）（三）/ 若紫）	○	○	○	○	○	○	○	○			pp. 102-116	
＜古文の窓4＞『源氏物語』の影響			○	○	○						p. 117	
万葉集	○	○	○	○	○	○		○			pp. 118-121	
古今和歌集（仮名序/撰者の歌）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 122-125	
新古今和歌集	○	○	○	○	○			○	○	○	pp. 126-127	
梁塵秘抄	○	○	○	○	○			○			p. 128	
閑吟集	○	○	○	○	○			○			p. 129	
芭蕉・蕪村・一茶	○	○	○	○	○			○	○		pp. 130-132	
＜古文を読むために1＞連句について	○			○	○						p. 133	
市中の巻	○	○	○	○	○			○	○		pp. 134-135	
＜古文を読むために2＞文脈を読み解く	○	○		○	○						p. 136	
古今著聞集（源義家、衣川にて…）	○	○	○	○	○			○			pp. 138-139	
今昔物語集（馬盗人）	○	○	○	○	○			○			pp. 140-145	
宇治拾遺物語（唐に卒都婆…）	○	○	○	○	○			○			pp. 146-149	
枕草子（うれしきもの/五月ばかりな どに…/上にさぶらふ御猫は/頭の弁 の、…/この草子、…）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 150-163	
大和物語（をばすて）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 164-165	
堤中納言物語（虫めづる姫君）	○	○	○	○	○				○		pp. 166-171	
大鏡（三船の才/肝だめし/鶯宿梅）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 172-179	
蜻蛉日記（町の小路の女/鷹）	○	○	○	○	○			○			pp. 180-183	
和泉式部日記（薫る香に）	○	○	○	○	○			○			pp. 184-186	
紫式部日記（土御門邸の秋/和泉式部 と清少納言）	○	○	○	○	○			○			pp. 186-189	
十六夜日記（駿河路/月影の谷）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 190-193	
源氏物語（葵/須磨/薄雲/若菜上 （一）（二）/御法/橘姫）	○	○	○	○	○			○			pp. 194-223	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									箇所	配当 授業 時数
	(1) 指導事項					(2) 言語活動例					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ		
古今和歌集仮名序 (やまと歌/参考真名序)	○	○	○	○	○		○	○		pp. 224-225	
無名草子 (紫式部のこと)	○	○	○	○	○				○	pp. 226-227	
無名抄 (おもて歌)	○	○	○	○	○			○		pp. 228-229	
連理秘抄 (連歌は心より起こりて)	○	○	○	○	○			○		pp. 230-231	
風姿花伝 (因果の花)	○	○	○	○	○			○		pp. 232-234	
正徹物語 (沓冠の折句)	○	○	○	○	○			○		pp. 234-235	
隅田川	○	○	○	○	○		○		○	pp. 236-243	
曾根崎心中 (道行)	○	○	○	○	○			○		pp. 244-247	
笈の小文 (造化にしたがひ…)	○	○	○	○	○			○		pp. 248-249	
三冊子 (不易と変化)	○	○	○	○	○			○	○	pp. 250-251	
去来抄 (行く春を)	○	○	○	○	○			○	○	pp. 252-253	
難波土産 (虚実皮膜の論)	○	○	○	○	○			○	○	pp. 253-254	
玉勝間 (師の説になづまざるごと)	○	○	○	○	○			○	○	pp. 255-257	
古事記 (海幸山幸)	○	○	○	○	○	○	○			pp. 258-263	
西鶴諸国ばなし (大晦日は…)	○	○	○	○	○			○		pp. 264-267	
雨月物語 (浅茅が宿)	○	○	○	○	○		○	○	○	pp. 268-273	
<古文を読むために3>文法から解釈へ	○				○					p. 274	
〔漢文編〕											
知音	○	○	○	○	○	○		○		p. 8	
画竜点睛	○	○	○	○	○	○				p. 9	
両頭蛇	○	○	○	○	○					p. 10	
漱石枕流	○	○	○	○	○	○				p. 11	
糟糠之妻	○	○	○	○	○	○		○		pp. 12-13	
塞翁馬	○	○	○	○	○	○				pp. 14-15	
自然 (竹里館/六月二十七日…)	○	○	○	○	○					pp. 16-17	
別離 (勸酒/贈別/送友人)	○	○	○	○	○			○		pp. 18-19	
旅情 (積中作/峨眉山月歌/登岳陽樓)	○	○	○	○	○			○		pp. 20-21	
憂愁 (月夜/咸陽城東樓)	○	○	○	○	○			○		pp. 22-23	
自適 (山中問答/遊山西村)	○	○	○	○	○		○			p. 24	
[言語活動] 詩人の紹介文を書こう				○				○	○	p. 25	
<漢文を読むために1>漢詩の形式と表現	○									pp. 28-29	
項羽と劉邦 (彼取りて代はるべきなり/大丈夫当に此くのごとくなるべきなり)	○	○	○	○	○			○		pp. 30-35	
鴻門の会 (沛公 項王に見ゆ/樊噲目を瞋らして項王を視る)	○	○	○	○	○	○		○		pp. 36-41	
項王の最期 (四面皆楚歌す/我 何の面目ありて之に見えん)	○	○	○	○	○	○		○		pp. 42-46	
<漢文の窓1>司馬遷の視点				○						p. 47	
桃花源記	○	○	○	○	○		○			pp. 48-50	
捕蛇者説	○	○	○	○	○		○			pp. 51-55	
孔子と門人たち (賢哉回也/過猶不及/行不由徑/暴虎馮河/聞斯行諸)	○	○	○	○	○		○	○		pp. 56-61	
人の性 (不忍人之心/人之性悪/性猶湍水也)	○	○	○	○	○		○	○		pp. 62-65	
政治のありかた (子路問君子/子之武城、聞弦歌之声/何必曰利)	○	○	○	○	○		○	○		pp. 66-69	
漢詩 (冬夜読書/桂林莊雜詠 示諸生/将東遊題壁/題自画)	○	○	○	○	○					pp. 70-71	
逸話 (所争在弓箭/ (参考) 題不識庵擊機山図)	○	○	○	○	○				○	pp. 72-73	
<漢文の窓2>漢文と日本人				○						p. 74	
定伯売鬼	○	○	○	○	○					pp. 76-77	
定婚店	○	○	○	○	○					pp. 78-83	
基本句法のまとめ	○					○				pp. 84-93	
再読文字のまとめ	○					○				p. 94	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容								箇所	配当 授業 時数	
	(1)指導事項					(2)言語活動例					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ			エ
呂不韋（奇貨置くべし/子楚を適嗣と 為す/太子の政 立ちて王と為る）	○	○	○	○	○					pp. 96-105	
荆軻（丹 怨みて亡げ帰る/風蕭蕭と して易水寒し/凶窮七首見る）	○	○	○	○	○			○		pp. 106-113	
人生（桃夭/行行重行行/飲酒）	○	○	○	○	○				○	pp. 114-116	
社会（子夜呉歌/石壕吏/売炭翁）	○	○	○	○	○				○	pp. 117-121	
<漢文を読むために2>文の形式と表現				○						pp. 122-123	
師説	○	○	○	○	○			○		pp. 124-127	
春夜宴桃李園序	○	○	○	○	○					pp. 128-129	
無為自然（大道廢、有仁義/小国寡民 /渾沌/曳尾於塗中）	○	○	○	○	○			○	○	pp. 130-133	
法治の思想（侵官之害/処知則難）	○	○	○	○	○			○	○	pp. 134-135	
愛（兵者、…/兼相愛/母の愛子也）	○	○	○	○	○			○	○	pp. 137-139	
<漢文の窓3>『莊子』の宇宙観				○						p. 140	
<漢文を読むために3>諸子百家の思想				○						p. 141	
長恨歌	○	○	○	○	○			○		pp. 142-151	
源氏物語（翼をならべ、…）				○	○			○		pp. 152-153	
更級日記（七月七日）				○	○			○		p. 154	
枕草子（梨花一枝）				○	○			○		p. 155	
人虎伝（才を恃みて倨傲なり/道に虎 有り/化して異獣と為り、人に覲する 有り/我 將に託する所有らんとす/再 び此の途に遊ぶこと無かれ）	○	○	○	○	○			○	○	pp. 156-167	
<漢文の窓4>「人虎伝」と「山月記」				○				○		p. 168	